

機能毎の病床の状況について

病院名: 医療法人青心会郡山青藍病院 医療圏: 西和

※H28年度の列は、別紙1－3「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。

※R7年度、R8年度(2026年度)の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

			(a) ＜H28年度＞ 許可病床数	＜R7年度＞ 許可病床数	うち、最大使用 病床数 (注1)		(単位: 床)	
							(b) 将来 (R8/2026年度) 病床数	(b-a) H28年度からの 増減 (自動計算)
一般 病床・ 療養 病床	高度急性期					→		0床
	急性期	重症	60床	60床	60床		60床	0床
		軽症	40床	40床	39床		40床	0床
	回復期							0床
	慢性期		40床	40床	39床		40床	0床
	休棟中 (今後再開する予定)							0床
	休棟中 (今後廃止する予定)							0床
	(合計)(自動計算)		140床	140床	138床		140床	0床
精神病床							0床	
結核病床							0床	
感染症病床							0床	
介護医療院							0床	

※ 用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数
・1年間(R6.4.1～R7.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

令和7年度 地域医療構想における具体的対応方針

1. 基本情報

病院名：医療法人青心会 郡山青藍病院

医療圏：西和

2. 地域医療構想の実現に向けた自院の取組について

(1) これまでの地域医療構想や昨今の受療動向の変化、2040年頃を見据えた新たな地域医療構想の方向性を踏まえ、自院が地域で担う役割等について（現状と今後の方向性）

これまでの地域医療構想および近年の受療動向の変化を踏まえ、当院は引き続き急性期から回復期・慢性期、さらには看取りに至るまでを一体的に担うケアミックス病院として、地域における役割を果たしている。

急性期医療においては、二次救急医療機関として脳卒中や外傷等の救急患者を24時間365日受け入れる体制を維持し、地域住民の生命を守る役割を担っている。また、三次救急医療機関との機能分担のもと、後方受け入れ病院としての下り搬送連携を継続的に強化し、救急医療体制の円滑な運用に寄与している。

一方で、高齢化の進行や受療動向の変化に伴い、回復期・慢性期医療および在宅医療支援の重要性が一層高まっていることを踏まえ、地域包括ケア病棟および医療療養病棟を活用し、急性期治療後の受け皿機能を担っている。加えて、在宅療養中の急性増悪時の救急受け入れなど、在宅医療を支える医療機能についても引き続き提供している。

当院は、「断らない病院」としての救急対応力と、「面倒見のよい病院」としての継続的な医療・ケア提供の両立を基本姿勢とし、地域医療に貢献していく。

今後も、同一法人内の介護老人保健施設「ピュアネス藍」および介護付有料老人ホーム「青藍の郷」との連携に加え、地域の医療機関・介護施設との役割分担と連携を一層推進し、切れ目のない地域包括ケアシステムの構築に寄与していく方針である。

(2) 今後、増加が見込まれる高齢者救急への対応について

近年、救急搬送に占める高齢者の割合はすでに増加傾向にあり、当院においても高齢者救急は日常的な診療の一部となっている。このため、今後の高齢者救急の増加についても、特段の区別や制限を設けることなく、現行の救急受け入れ体制のもとで対応していく方針である。

当院では、年齢にかかわらず、患者の病態・重症度・生活背景等を総合的に評価したうえで診療を行っており、高齢者であることを理由に受け入れを制限することなく、これまでと同様に「断らない救急医療」を基本姿勢として継続していく。

また、高齢者救急においては、急性期治療後の療養先や在宅復帰を見据えた対応が重要であることから、院内の地域包括ケア病棟や医療療養病棟を活用し、急性期から回復期・慢性期への円滑な移行を図っている。今後も、こうした体制を活かしながら、高齢者救急に対しても継続的かつ実効性のある対応を行っていく。

(3) 今後、増加が見込まれる在宅医療需要への対応について

※提供体制強化や体制整備の予定等ありましたら合わせてご記載ください

今後、在宅医療を受ける高齢者の増加が見込まれる中、当院は訪問診療や訪問看護などの在宅訪問医療を直接提供する体制は有していない。一方で、在宅療養中の患者に状態変化や急性増悪が生じ、入院による医療介入が必要となった場合には、これまで同様、適切に受け入れを行う方針である。

在宅医療は、地域の診療所や訪問看護事業所等との役割分担のもとで成り立つものであり、当院はその中で、在宅医療を支える病院としての機能を担っている。急性期治療が必要な場合の入院受け入れに加え、治療後の療養や回復期・慢性期医療への対応を通じて、在宅療養の継続を支援している。

今後も、在宅医療を担う地域の医療・介護関係機関との連携を図りながら、在宅から入院、入院から再び在宅へとつなぐ切れ目のない医療提供体制の一翼を担い、地域における在宅医療需要の増加に対応していく。

(4) 今後の医療従事者の確保や医療提供の維持に向けた方策、検討の状況について

※医療DX、タスクシフト・シェア等の取組状況がありましたら合わせてご記載ください

医療従事者の確保については、全国的な人材不足の影響を強く受けており、当院においても医師・看護師をはじめとする医療従事者の確保に大きな困難を伴っているのが現状である。今後の医療提供体制の維持にあたっては、医療従事者の確保状況が最大の制約要因となっている。特に、救急対応や病棟運営を担う人材の確保は容易ではなく、医療提供体制の継続に向けて喫緊の課題となっている。

このような状況の中、当院では、限られた人員で医療の質を維持するため、業務の効率化および役割分担の見直しを進めている。医療DXの取組としては、電子カルテ等の医療情報システムを活用し、診療情報の共有や事務作業の効率化を図ることで、医療従事者の業務負担軽減に努めている。また、医師の業務負担軽減を目的として、看護師、医療技術職、事務職等との連携を強化し、タスクシフト・タスクシェアの考え方を踏まえた業務分担を進めている。しかしながら、これらの取組のみで人材不足を十分に解消することは困難であり、現場運営においては依然として厳しい状況が続いている。

今後も、職員の定着促進や働きやすい職場環境の整備に取り組むとともに、地域の医療機関との連携や役割分担を通じて、限られた医療資源を有効に活用しながら、地域医療の継続に努めていく方針である。

3. 各領域の対応状況について

※以下[1]～[15]の領域の今後の方向性について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものにチェックをつけてください。

[1]がん

[1-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[1-2]手術の実施

消化器

[1-3]化学療法の実施

実施している

[1-4]放射線治療の実施

実施していない

[1-5]拠点病院等の指定

指定されていない

[1-6]特記事項

—

[2]心筋梗塞等の心血管疾患

[2-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[2-2]24時間心血管疾患の急性期医療の実施

実施していない

[2-3]緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施

実施していない

[2-4]経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施

実施している

[2-5]心疾患に対する外科手術の実施

実施していない

[2-6]冠動脈バイパス手術の実施

実施していない

[2-7]急性大動脈解離の手術の実施

実施していない

[2-8]大動脈瘤手術の実施

実施していない

[2-9]心血管疾患等への早期リハビリ

実施していない

[2-10]特記事項

—

[3]脳卒中等の脳疾患

[3-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[3-2]脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施

実施している

[3-3]脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施

実施していない

[3-4]脳出血（くも膜下出血を含む）への対応

対応している

[3-5]くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術

実施している

[3-6]くも膜下出血に対するコイル塞栓術

実施していない

[3-7]脳出血に対する開頭血腫除去術

実施している

[3-8]脳血管疾患等への早期リハビリ

実施している

[3-9]特記事項

—

[4]救急医療

[4-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[4-2]救急告示病院の指定を受けているか？

受けている

[4-3]大腿骨骨折への対応

対応している

[4-4]病院群輪番制への参加

参加している

[4-5]小児科病院二次輪番体制への参加

参加していない

[4-6]特記事項

—

[5]リハビリ

[5-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[5-2]回復期リハビリ病棟入院料届出の有無

無し

[5-3]上記が有りの場合、届出病床数

—

[5-4]訪問リハビリの実施

実施していない

[5-5]通所リハビリの実施

実施している

[5-6]今後の方向性

—

[6]在宅医療

[6-1]当該領域について対応しているか？

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

対応している

[6-2]在宅療養支援病院の届出の有無

有り

[6-3]在宅療養後方支援病院の届出の有無

無し

[6-4]特記事項

—

[7]訪問看護

[7-1]病院看護師が当該領域について対応しているか？

対応していない

[7-2]同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？

ない

[7-3]上記でありの場合、その名称

[7-4]特記事項

—

[8]ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

[8-1]「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）について
定めている

[8-2]特記事項

—

[9]小児医療

[9-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[9-2]小児入院医療管理料の算定

—

[9-3]新生児特定集中治療室管理料の算定

—

[9-4]医療的ケア児を受け入れている

—

[9-5]特記事項

—

[10]周産期医療

[10-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[10-2]分娩の取扱い

—

[10-3]ハイリスク分娩管理加算の算定

—

[10-4]特記事項

—

[11]災害医療

[11-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[11-2]災害拠点病院の指定を受けているか？

受けていない

[11-3]DMAT指定病院の指定を受けているか？

受けていない

[11-4]EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加

参加している

[11-5]特記事項

—

[12]へき地医療

[12-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[12-2]へき地医療拠点病院の指定を受けているか？

—

[12-3]特記事項

—

[13]医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

[13-1]当該領域について対応しているか？

対応していない

[13-2]基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？

—

[13-3]協力型臨床研修病院の指定を受けているか？

—

[13-4]臨床研修協力施設であるか？

—

[13-5]専門研修の基幹施設であるか？

—

[13-6]専門研修の連携施設であるか？

—

[13-7]特記事項

—

[14]医師の働き方改革

[14-1]医師の宿日直許可の取得状況

取得済み

[14-2]上記で一部の場合、その範囲

取得済み

[14-3]特記事項

—

[15]看護職員の研修機能

[15-1]特定行為研修の指定研修機関の指定申請予定はあるか？

ない

[15-2]特定行為研修の協力施設の申請予定はあるか？

ない

[15-3]特記事項

—